

JTUきょうと教組 日本教職員組合 **NEWS LETTER**

2021年3月1日発行 No.146
 京都府教職員組合 小鍛治 啓
 Kyoto School Staff Union
 Tel:075-252-6771
 Fax:075-252-6772
<http://kyoto-union.net>



コロナ禍でも、 近畿の仲間と ZOOM で交流



2月11日(木)***第15回 近畿ブロック臨時採用教職員部交流会

賃金・採用試験、 休暇・休業制度について意見交換

2月11日(木)、近畿ブロック臨時採用教職員部交流会が開催されました。きょうと教組からは臨採部長の笹原さんと、今年度きょうと教組に加入された臨時採用の事務職員さん2人がZOOMで参加しました。以下、お二人からの報告です。



今年度の第15回日教組近畿ブロック臨時採用教職員部交流会は、web参加で行われました。初めてのオンライン会議のため、書記局で手ほどきを受け、無事に参加することができました。

交流会では、賃金・採用試験・休暇休業制度の3点に絞って、各府県の現状を話し合いました。

賃金については、年々改善されているとはいえ、正規の教職員に比べると、格差が大きいことが指摘されました。特に、60歳を超えると大幅に減額されるので、改善要求が出されています。私も、60歳を超えて担任をしていますので、身をもって感じています。

採用試験は、年齢制限撤廃の府県が増えています。しかし、50歳を超えて採用されている例は、少ないのが実情です。

休暇休業制度は、正規の教職員と同等に取得できるようになってきました。しかし、業務が多すぎたり担任代行の人員がいなかったりするため、安心して取得できないのが、現状です。教職員の定数を増やしていかなければこの制度が、絵に描いた餅になってしまうとの声が上が

っていました。実際、休むと授業が遅れ、諸々の事務処理がたまると思うと、休むことをためらってしまいます。

今回の交流会は、具体的な項目に絞って話し合うことができたので、オンライン会議の良さがありました。ただ、残念だったのは、お互い顔を見合わせて現場での悩みや苦労などが出しにくかった点です。コロナ感染症の終息を願うばかりです。



コロナ禍でしたので、他府県の方々と ZOOM を通しての交流会での参加をさせていただきました。ZOOM を使うのも初めてだったので、いろいろと個人的に戸惑いもありましたが、無事に参加できました。

分科会ではグループ1に京都を代表して、参加させていただき、質問していただいたことに対して、つたない回答でしたが発表させていただきました。

採用試験、賃金、退職金制度、休暇制度等様々な項目を他府県と比べながら意見交換をしました。意見交換をして勉強になることが多かったです。京都以外の組合での任用形態、教員採用試験の年齢制限の変更や年齢制限を撤廃されたところもあり、経験者に対する加点がもらえるようになった組合もありました。

会計年度職員についても、年休の取り扱いなども様々で資料を読みながら、勉強になることばかりでした。

臨時事務職員だけでなく、他職種の方々との意見交流ができ、よい経験になりました。

1月9日(土)*****第25回 近畿ブロック青年部交流学習会

まだまだ、しゃべり足りないけど・・・

例年、2日間を通して参加者がともに語り合い、交流する近畿ブロック青年部交流学習会が、右ページのローガンのもと、今年度は規模を縮小して1日で、また兵庫会場とWebの2形態で開催されました。京都からは青年部2人がWebで参加しました。



コロナ禍において何もかも手探りの一年であったが、他府県・他校種の方と考え方や実践、悩みを共有できたことは非常に有意義でした。

実行委員の皆さんの事前の準備、当日の運営のおかげで学び多き時間をすごせました。

司会の方に上手に場を仕切っていただいたおかげで、初めてのズーム会議でしたが楽しく喋れました。オンラインでは密は避けられるものの、対面での話し合いによる「熱」にはやはり温度差があり、まだ喋り足りないな、というのが率直な感想です。



地歴教員をしていると、歴史で何があったのかの事実をしっかりと次世代の子ども達に伝達することの重要性を日々感じますが、組合員としてもこれまでの組合運動の歴史を知ることが、我々にとって今何が求められているか